

# 北米とヨーロッパの民衆よ、いい加減に目を覚ませ、愚か者ども！

【訳者注】アンドレ・ヴルチェクは、この時勢への警告家の中でも、その良心と博学と経験の豊富さのために、最も傾聴すべき知識人の一人である。彼の世界の見方の軸は、一握りのグローバリストと、その奴隷たる民衆というより、もっと根源にある「西洋」(欧米)と、西洋に徹底的に奴隷化された非西欧という対立であり、彼は、西洋に搾取された、世界の最貧国、最貧のスラム街がどのようなものであるかを、おそらく誰よりもよく知っている。ここにも書かれているように、彼は、この全く別世界のような、2つの世界の「掛け橋」として、西洋人に目を開かせるために活動している。彼のほとんど怒りの爆発のような、この評論を読まれるとよい。そして、日本と日本人はどういう立場にあるのか、考えてみるとよい。彼の観点を気に入らぬ人があるかもしれないが、私は、彼のような観点が無い限り、この世界はよくなると思う。



左の絵は、同じサイトの、これとは別だがほぼ同じ内容の、「**白く塗った(偽善の)戦争犯罪がアメリカ流になってしまった**」という記事の写真(挿絵)である。このどぎつい絵を、私はあえて選んでここに使う。そこにはこう書かれている:「もしアメリカ兵が、現在と未来の戦争において、強姦、略奪、強奪が自由になったら、アメリカはどのような社会になるだろうか?」

Andre Vltchek

June 6, 2019, Information Clearing House

私の目には、シリアのホムズのような偉大な都市が、恐るべき廃墟になっている光景が浮かぶ。また、アフガニスタンのカブールやジャララバードが、NATOの占領軍や彼らの傀儡政権を保護するために、巨大なコンクリートの壁に分断されているのが、目に浮かぶ。インドネシアのボメオや、ペルーの金鉱町、あるいは今はほとんど住めなくなった、オセアニアのサンゴ礁国家が、怪物のような環境破壊状態になっているのが目に見える。

スラム街の、衛生設備もきれいな水もなく、西洋の帝国の軍靴が地方の文化を粉みじんに破壊し、人々を奴隷にし、天然資源を略奪した様子が私には見える。

私はすべての大陸で仕事をしている。私は決してやめることはない——たとえ疲労が私を壁に押しつぶそうと試みても、残ったものがほとんどなくなっても。私はやめることができない。私にはやめる権利がない。なぜなら、ついにパターンが見えてきたからだ。この世界が働くやり方だ。西洋がそれを強奪し、洗脳し、世界の国々のほとんどを、奴隷化してきたそのやり方だ。私は自分の知識を結合し、それを「世界への警告」として出版する。

私はこの「パターン」について本を書く。これまでに、私の最も完成した本は、千ページに及ぶ *Exposing Lies of the Empire* (帝国のウソを暴く) である。

<https://www.amazon.com/Exposing-Lies-Empire-Andre-Vltchek/dp/6027005866>

次に私は西洋そのものを見る。

私は「話」をしに出かける——カナダへ、アメリカへ、そしてヨーロッパへ。時たま私は、オーストラリアの民衆にも話すように招待される。

西洋は、廃墟となり略奪された諸大陸に比べて、あまりにも途方もなく金持ちなので、それはしばしば地球惑星に属していないように見える。

ローマの Villa Borghese における日曜日の午後の散歩と、ナイロビのスラム街 Mathare の恐怖の散歩は、2つの全く異なった現実、または2つの異なった銀河系に存在すると考えても、全く不思議ではない。

たった今も、私が Villa Borghese のスペルをわずかに間違えても、私の Mac は直ちに訂正を提案した。それは Villa Borghese が確かに存在するからだ。これに対して、私が正しく綴った Mathare は、赤いアンダーラインが付いた。Mathare はエラーだった。なぜか？ **なぜならそれは存在しないからである。**それは存在しない。ほぼ100万人の男と女と子供がそこに住んでいるという事実にもかかわらず、存在しないのだ。それは、私の MacBook Pro によっては認識されない。また、西洋の比較的教育を受けた、私の読者の大多数によっても認識されない。

実は、ほとんど全世界が、ニューヨークや、ベルリンや、パリから観察すれば、一つの大きな間違い、存在しないものに見えるのである。

私は、西洋の民衆の前にやってきて話す。そうだ、私は時たまそれをやっている——だんだん回数は少なくなるが。

正直言って、ヨーロッパあるいは北米の群衆に直面するのは、気の滅入る、恥ずかしい気持ちにさえさせることである。

それはこんな体験だ——あなたは「真実を話す」ように依頼される、あなたが世界中で目撃していることを発表するように。

あなたはそこに立ち、男や女たち、快適な車に乗って到着したばかりの、暖房の行き届いた快適な家で、良い食事をしてきた人々に直面する。あなたは有名な作家とか映画作者かもしれないが、どういふものか、あなたは乞食のような気分させられる。なぜなら、あなたは「乞食たち」を代表して話しに来たからである。

すべてはピカピカに磨かれ、装飾されている。あなたはどんな「大きな傷」も見せないように期待されている。あなたの民衆の「悪口」を言わないことが期待されている。あなたは、罵ったり、舞台上で酔っぱらったり、目の前のあらゆる人間を、侮辱し始めたりしないことが期待されている。

通常あなたが直面するのは、とても硬い、あるいは少なくとも「硬化した」群衆である。

最近、南カリフォルニアで、友人の哲学者に頼まれて、彼の同僚の小さな集まりで話す機会があったとき、何人かの人々は、私がシリアの前線のイドリブの状況を説明している間、携帯電話で話し続けていた。私は、私の話が彼らの大多数にとって、「バックグラウンド・ミュージック」にすぎないのだと感じた。少なくとも、私が TV インタビューで数百万の人々に話しかけるときには、民衆の顔を見る必要はない。

あなたが西洋で「話す」ときには、あなたは現実には、自分たちの祖国によって犯されつつある大量殺人や民族抹殺に、少なくとも一部は責任のある人々に向って話している。彼らの生活水準が途方もなく高いのは、**他者**が強奪され、辱められ、しばしば強姦されているからである。しかし彼らの目は謙虚ではない。彼らはその目を突き通すように、あなたが犯すかもしれない間違いを見つけようと、そして「この男はフェイク・ニュースだ」と結論を出せるように見ている。彼らにとって、あなたは、「存在する」者たちと、存在しない者たちの間の掛け橋ではない。彼らにとってあなたは、エンタテイナーであり、ショーマンであり、あるいはしばしば——厄介者である。

戦争について学ぶこと、西洋が拡散しているテロについて学ぶことは、多くの私の聴衆にとって、もう一つの種類の贅沢、高級な娯楽であり、オペラの公演やシンフォニー・コンサートに似ていなくもない。もし必要なら、彼らは料金を払いもするが、たいていはごめんだ思っている。多少の刺激の経験の後、それは日常に戻る、保護された、優雅な生活に戻る。一方、あなたは翌日、しばしば飛行機に乗って、**他者**の現実に戻る——前線へ、ゴミと悲惨へと戻る。

彼ら、あなたの聴衆（しかし、あなたの読者のほとんどでもある）は、いかに自分だけは「広い心」をもっているかを示すためにやってくる。私はあなたから「学ぶ」ために、「教育を受ける」ために来たのだと言う。しかし彼らのライフスタイルは、そのままである。彼らのほとんどは、自分がすべてを知っていると思っている。あなたの直接的な経験がなくても知っている、と。彼らは好意を見せ、あなたを招待することによって、どこかの大学か、劇場か、どこでも、あなたが彼らの前に立てるところに、彼らの総勢を引き連れてくることによって、それを示そうとする。彼らはあなたの闘争に、支持を提供するために来たのではない。彼らはどんな闘争の一部でもない。彼らは善良で、平和を愛する、勤勉な人々だ——それだけである。

彼らは、あの 1930 年代後半のドイツ人のように、自分を正しいとして、勤勉に働く人々である。彼らのほとんどは自分のペットを愛し、自分のゴミをリサイクルしている。そしてきれいに後始末をしている。

数日前、我々はベネズエラのクーデタを止めた。我々というわけは、破壊されたボメオ島の内部にいても、私は RT と Press TV に、何百万人を相手とするインタビューをしていたからである。ここでさえ私は、書いたり、ツイートすることを止めず、常に、すべてを放り出して、もし自分が必要とされれば、首都カラカスへ飛ぶ準備をしていた。

ベネズエラを擁護すること、その革命を弁護することが肝心だった。シリア、キューバ、ロシア、中国、北朝鮮、イラン、ボリビア、南アフリカ、その他、西洋の独裁に屈することを拒否する、革命的な勇敢な国家を弁護するのが肝心なように。

カラカスを奪おうとするイデオロギー闘争が荒れていた間も、私は考えていた——西洋の民衆を行動へと動かすことのできるものが、何かまだあるだろうか？

彼らヨーロッパ人と北米人は、彼ら自身の犯罪に、完全に無関心になったのだろうか？ 彼らはある種の情緒的免疫を発達させたのだろうか？ 彼らの状態は、イデオロギー的なものだろうか、単に病的症状だろうか？

我々は、完全に開け広げのクーデタの、真ただ中にいた。それは、この惑星でも最も民主的な国家の一つを覆そうとする、西洋の試みだった。そして彼らは、ワシントンやマドリードの、彼らの体制によって行われる、テロリズムを止めようとする、ほとんどどんなこともしなかった！ 少なくとも、1965年のインドネシアでは、または1973年のチリでは、この西洋の体制は、薄いイチジクの葉の後ろに隠れようとした。少なくとも、社会主義アフガニスタンや共産主義ソ連邦を、ムジャヒディンを作り出すことによって破壊しようとしたときには、西洋は、パキスタンを代理として使い、少なくとも部分的に、その本当の役割を隠そうと試みた。少なくとも、イラクで100万以上の人々を殺したときは、「大量破壊兵器」という、この見せかけと大量のウソがあった。少なくとも、少なくとも…

今、それはすっかり透明になった。シリアにおいて、ベネズエラにおいて——そして北朝鮮、キューバ、イラン、中国、ロシアに対して。

プロパガンダなど、もはや必要ですらないかのように、あたかも西洋の民衆が全面的に従順になり、西洋の体制の計画に、何の脅威も及ぼさないかのように。

あるいはもっと正確に言えば、かつて念を凝らした西洋のプロパガンダが、きわめて単純になった。それは今ウソを繰り返し、西洋の市民の大多数は、彼らの政府が世界に何をしようとしているのか、問うてみる必要すらない。唯一の重要なことは「国内問題」——つまり、西洋人の賃金と利益である。

ベトナム戦争当時のような暴動はない。今、暴動は、ヨーロッパの労働者の福祉向上のためでしかない。西洋の誰も、外国での略奪を止めさせるために戦っている者はいない。あるいはNATOによるテロ攻撃が、非西洋国家に向けられるのを止めるために、また、これら無数のNATO軍事基地に反対して、侵略やクーデタ工作に反対して、戦っている者はいない。

これ以上どこまで、西洋の民衆は我慢ができるのだろうか？

それとも、彼らは本当にすべてを我慢できるのだろうか？

西洋は、ベネズエラかキューバ、それとも両方の直接の侵略を、受け入れるつもりか？ それはすでに、ユーゴスラビア、イラク、アフガニスタン、リビア、それにシリアへの直接の介入と破壊を受け入れた。それは、最近の歴史における、西洋によって犯されたテロ活動の、ごく数例にすぎない。

では、これ以上どこまで？ イランに対する攻撃は許容できるのか？ 2, 3百万人の死ならよいか？

北朝鮮はどうか？ 数百万のプラスなら許せるか？

私が問うているのは修辭的疑問ではない。私は本当にそれを知りたいのだ。これは世界が知りたがっていることだと思う。

西洋の民衆は ISIS のレベルにまで達したのだろうか？ それほどまでに独善的で、空想的で、自分自身の例外主義を確信していて、はっきり考えることも、分析することも、判断することもできなくなったのだろうか？

私は西洋の狂気の限界を知りたい。

・・・(残り数十行略)